

株主通信

平成27年度中間報告書

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

第68期

- ご挨拶・連結財務ハイライト
- トピックス（技術）
- 連結決算の概要
- 完成工事（土木）
- ピーエス三菱グループのCSR活動
- 完成工事（建築）
- トピックス（土木・建築）
- 会社情報
- 株式情報

ウトロ漁港人工地盤（PC躯体工事）（北海道）





代表取締役社長
社長執行役員

藤井 敏道



コーポレートマーク

生命の神秘である植物の発芽がモチーフです。発芽は、力強い成長を意味し、新分野・新領域の開拓を表現しています。また、オレンジが大地（＝土木）、ブルーが空（＝建築）、全体で地球をイメージして、自然と共生する企業を具象化しています。

表紙の説明

ウトロ漁港はオホーツク海に面し、世界自然遺産である知床半島に位置しています。地域水産業の生産流通拠点だけでなく、知床海域の災害時緊急避難や大規模自然災害に備えた地域防災拠点として平成20～26年にわたり建設整備され、このほど完成しました。平屋建て、延床面積18,014㎡のプレキャスト・プレストレスト・コンクリート（PCaPC）造で、柱・梁・床版にPCa部材が使われ、総重量は21,659tにもなります。当社でPC躯体工事一式を請負い、工場で作成した部材を現地にて組み立てました。

株主の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。「株主通信」をお手元にお届けするに当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

平成27年度第2四半期累計期間における我が国経済は、中国経済の減速等により、国内の設備投資意欲が低下する等のマイナス要因があったものの、企業収益は全般的に好調に推移しております。また、雇用・所得環境の改善による消費の後押しもあり、緩やかな景気回復を持続しております。

当社が属する建設産業におきましては、公共工事の発注が昨年度と比較して減少しておりますが、民間工事の発注は比較的順調なことから、企業業績は全般的に堅調に推移しております。今後につきましては、「震災復興関連」をはじめ、「国土強靱化政策」に沿った防災・減災および「インフラ老朽化対策」等の公共投資の継続や、「東京オリンピック・パラリンピック開催」を視野に入れた「再開発事業」や「リニア新幹線等の交通インフラの拡充」、全国的な「高速道路の大規模修繕・更新」等の大型プロジェクトも予定されており、一定の建設需要が見込まれます。

CONTENTS

●ご挨拶・連結財務ハイライト	1・2	●トピックス（技術）	7・8
●連結決算の概要	3・4	●完成工事（土木）	9・10
●ピーエス三菱グループのCSR活動	5	●完成工事（建築）	11・12
●トピックス（土木・建築）	6	●会社情報	13
		●株主情報	14

当社土木部門の主力であるPC（プレストレスト・コンクリート）業界におきましては、橋梁の新設工事の発注が減少しており、また慢性的な人手不足による労務費と原材料費を中心とした建設コストの高騰が懸念材料になっていることから、事業環境は引き続き予断を許さない情勢にあります。

このような経済状況のもと、当社はPC技術を基軸とした総合建設業として、橋梁に代表される公共工事を中心とした「土木事業」と民間工事を中心とする「建築事業」を2本柱として、PC技術の適用範囲を広げて新しい分野を開拓することで、他社との差別化を図り、PC業界の「リーディングカンパニー」として、企業の「安定経営」に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の連結受注高につきましては、525億96百万円（前年同期495億16百万円 前年同期比6.2%増加）となりました。連結売上高につきましては、425億99百万円（前年同期466億5百万円 前年同期比8.6%減少）となりました。損益の状況につきましては、連結営業利益10億7百万円（前年同期12億72百万円 前年同期比20.8%減少）、連結経常利益9億78百万円（前年同期10億円 前年同期比2.2%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億65百万円（前年同期7億18百万円 前年同期比6.6%増加）となりました。

当社としましては、引き続き「安定経営」を目指すとともに、土木・建築両部門ともに、新設・新築工事が減少し、社会インフラが更新期を迎えることによりメンテナンス需要が中心となる時代に備えていく必要があります。そのために、当社はグループ力を最大限に活用しながら維持・補修分野を伸ばしていくことを目指すとともに、PC事業分野を軸とした海外展開を図っていくことで、当社事業の裾野を広げていく方針であります。

当社の使命は自然災害に強い国土を造り将来に残すことであり、昨今、自然災害が多発している中、当社が貢献できることは数多くあります。建設業に携わる者として「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」という当社の基本理念を胸に、コンプライアンスを徹底し、健全経営に努めることで、積極的に社会貢献を行ってまいります。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解を賜りまして、今後ともより一層のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

連結財務 ハイライト	売上高	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
	425億99 百万円 (前年同期比 8.6%減)	9億78 百万円	7億65 百万円



四半期連結貸借対照表（要旨）

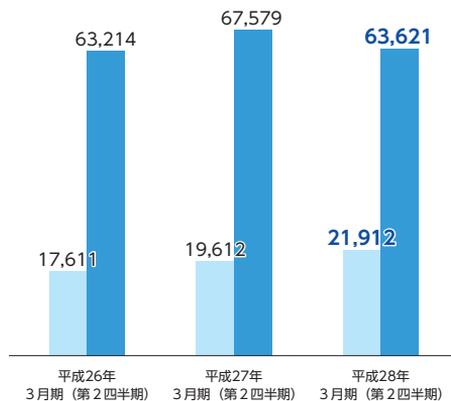
（単位：百万円）

	前期末 平成27年3月31日現在	当第2四半期末 平成27年9月30日現在
流動資産	57,001	46,549
固定資産	16,945	17,071
有形固定資産	12,277	12,478
無形固定資産	36	40
投資その他の資産	4,631	4,553
資産合計	73,946	63,621
流動負債	46,350	35,507
固定負債	6,144	6,201
純資産	21,450	21,912
負債・純資産合計	73,946	63,621

総資産／純資産

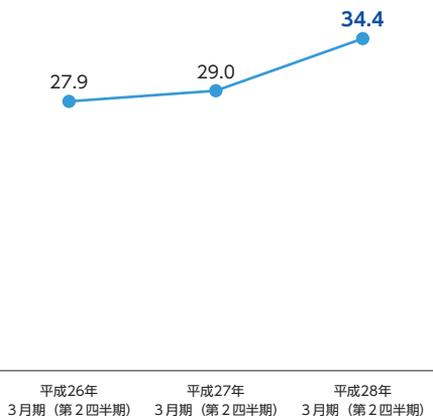
（単位：百万円）

■ 総資産 ■ 純資産

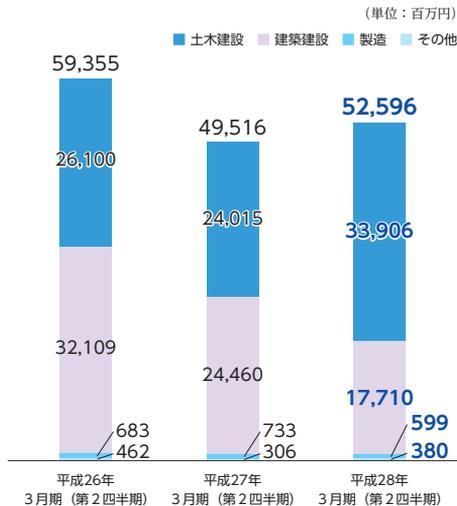


自己資本比率

（単位：%）



受注高（セグメント別）



売上高（セグメント別）



四半期連結損益計算書（要旨）

(単位：百万円)

	前第2四半期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	当第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
売上高	46,605	42,599
売上原価	42,122	38,159
売上総利益	4,483	4,440
販売費及び 一般管理費	3,210	3,432
営業利益	1,272	1,007
経常利益	1,000	978
親会社株主に帰属する 四半期純利益	718	765



ピーエス三菱グループのCSR活動

当社グループでは、CSR基本活動方針として「リスクマネジメントの推進」「コンプライアンスの推進」「ステークホルダーコミュニケーションの推進」「地域社会への貢献」を掲げ、「人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する」の基本理念の実現に向けて、PDCA（計画・実行・評価・改善）を実践し、CSR活動の充実、更なるステップアップを図るべく取り組んでおります。

▶ リスクマネジメント推進活動

当社の企業活動におけるリスクを洗い出して「リスク管理台帳」にまとめ、リスクの把握および対策を講じることで、リスクの回避・発生確率の低減に努めております。

▶ コンプライアンス推進活動



役員・社員一人一人のコンプライアンスに対する意識向上を図るため、研修を開催する等、コンプライアンスに関する取り組みを継続的に実施しております。

また、従業員および当社グループに勤務する者が匿名でも利用できる通報窓口（CSRなんでも相談室）を社内外（本社・弁護士事務所）に設け、研修や部署内連絡会等で周知し、いつでも相談できる体制を整えております。

▶ コミュニケーション推進活動

● 現場作業所における社会貢献活動

工事現場にて近郊の小学生を招待し、現場見学・体験学習を開催し、児童たちの土木工事への興味や関心をより一層高めることができました。また、その他の工事現場でも近郊の住民の方々や幼稚園児、小学生、中学生を対象とした現場見学会や技術系の学生の方を対象とした研修会を開催し、更には地域行事に参加する等の活動も行っております。

(H24臨港道路海側橋梁工事 近隣小学生見学会におけるレンガによるアーチ橋製作)



● CSR報告書2015

ステークホルダーの皆様へ当社のCSR活動に関する情報をご覧いただくため、当社ホームページにCSR報告書を掲載しておりますのでご一読ください。

(ホームページアドレス：<http://www.psmic.co.jp/csr/>)





本年度も数多くの表彰を受けましたので、表彰実績の一部をご紹介します。



国土交通省関東地方整備局より 栄えある「工事成績優秀企業認定」を拝受

国土交通省関東地方整備局より「工事成績優秀企業認定」*を受けました。数百社の対象企業の中から6社のみが認定された大変名誉あるものです。また、対象7工事の中から、2件が「優良工事および優秀技術者局長表彰」

を受賞するとともに、安全管理が評価されて「安全管理優良受注者表彰」も併せて受賞いたしました。

このように、工事部門に設定された局長表彰の全部門を受賞することはとても稀であり、栄えある受賞となりました。

※工事成績優秀企業認定とは
過去2カ年度にわたって工事成績評価の平均点が80点以上かつ技術力の一層の向上に努めた企業が表彰対象。



受賞工事のひとつ「H25川名岡橋改良工事」



「日本免震構造協会賞」受賞 (当社施工「Ribbon Chapel」)

第16回日本免震構造協会賞2015において、当社が施工した結婚式用教会「Ribbon Chapel (リボンチャペル)」(広島県尾道市)が作品賞を受賞しました。

本物件は、リボンをイメージした真白な2本の階段がスパイラル状にチャペルを覆い、内部は全面ガラス張りとなっております。この2本の階段を新郎新婦がそれぞれ昇って、ゆったりと上昇スパイラルを描きながら最頂部で結ばれる構造体(免震構造)は、2人が晴れてひとつになる結婚までの軌跡を象徴しており、高さ15mの展望台からは瀬戸内海の美しい島々や穏やかな海が一望できます。





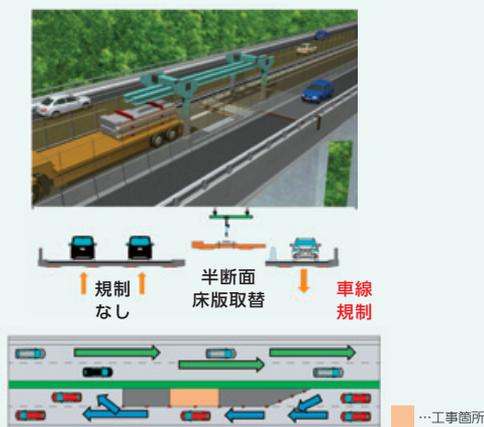
半断面床版取替工法の開発

高速道路における鋼橋の鉄筋コンクリート床版は、厳しい使用環境および経年劣化による変状が報告されているものもあり、交通を確保しながら計画的に床版を更新（取り替え）していく必要があります。そこで、工事車線規制を必要最小限の一車線のみで施工できるような床版構造・施工方法を開発することを目的に本研究を実施しております。今後は本工法の優れた特長を活かして、大規模更新事業への受注活動に向けて更なる検討を行っていきます。

通常の床版取替工法



半断面床版取替工法



床版取替工法イメージ図

特長・実施内容

- ・半断面床版相互は架設後、PC鋼材を配置・緊張し、部材を一体化します。なお半断面床版単体は、片側の床版を取り替えた後、速やかに交通できるように、プレキャストプレテンション構造としました。
- ・半断面床版が接合される縦目地部に設置される接合キーは、凍結防止剤を含んだ雨水の侵入による床版耐久性の低下を防止するために「錆びない材料」を使用することとしました。
- ・輪荷重疲労載荷試験を実施し、一枚版の床版と同等の疲労耐久性を保有していることを確認しました。
(株)高速道路総合技術研究所と共同開発)

日本初のフライアッシュを用いたPCT桁橋 －宮坂橋歩道橋（石川県）－

近年求められているPC構造物の耐久性向上・長寿命化および環境負荷低減等に対応するため、当社では『フライアッシュ』を用いたPC橋の開発に取り組んでまいりました。フライアッシュとは、石炭火力発電所などから年間1,000万t以上産出される産業副産物であり、コンクリートに混合することでコンクリートが緻密化し、塩害やアルカリ骨材反応等の劣化現象に対する耐久性が向上します。また、コンクリートの製造過程におけるCO₂排出量低減や未利用資源の有効活用等、環境負荷の低減にもつながります。

平成26年8月には石川県の宮坂橋歩道橋でこのフライアッシュを用いた日本初のPCT桁橋が当社施工により完成しました。今後もフライアッシュを用いたPC橋の普及を図り、良質な社会資本整備と地球環境の保全に貢献します。



フライアッシュ



宮坂橋歩道橋



大船渡市立 越喜来小学校 敷地造成工事 (岩手県)

本工事は、東日本大震災の津波により被災した岩手県大船渡市三陸町越喜来小学校の高台移転と越喜来地区認定こども園予定地の造成工事であり、被災地域復興のシンボルとして地域の期待を受け完了しました。また46万㎡にもおよぶ掘削残土は三陸沿岸強化事業の根幹となるかさ上げ流用土として有効利用されています。



明德橋補強工事（その2） (愛知県)

※PCコンファインド工事

本工事は、愛知県名古屋市南西部に位置し、市内を流下する最大規模の一級河川・庄内川に架かる県道の橋脚耐震補強工事です。下部工形式としては逆T式小判柱橋脚で、柱の幅7m、厚み3m、高さ12mの上下線2基を水中コンファインド工法で補強しました。これにより現在の新耐震基準となり、安全性が格段に向上しました。

H25徳土 国道438号 神・上分門屋 橋梁上部工事（4） （徳島県）

一般国道438号の徳島県名西郡神山町上分地区の一部区間が線形不良・幅員狭小で通行が困難なため、バイパス工事を実施中です。本工事は、このバイパスを構成する橋梁の1径間で、橋長53mの国内最大級のPC単純Uコンボ桁橋です。架設桁架設工法にて1本320t（11ブロック）の主桁を架設しました。



那覇港（浦添ふ頭地区） 臨港道路（浦添線） 海側橋梁上部工工事 （沖縄県）

本工事は、橋長837mのPC11径間連続箱桁橋からなる内4径間（328m）の橋梁上部工工事です。

那覇港と本島中心部の連絡は慢性的に交通渋滞している市街地を

通過せざるを得ない状況のため、この臨港道路（浦添線）（道路延長2.5km）により、市街地をバイパスしたアクセスを確保し、物流貨物の効率的な輸送体系の構築が期待されています。



喜多方市新庁舎（福島県）

※PC躯体工事

本物件は、福島県喜多方市の歴史・文化に根ざした「煉瓦蔵」等の「積み上げる形式」を外壁に組石状のブロック（PC耐震壁）を積み上げることで表現し、内部はPC床版を架け渡す構造となっております。

本庁舎棟は免震構造で地上4階建て、延床面積7,347㎡、RC+PCaPC（プレキャスト・プレストレスト・コンクリート）造一部S造で、当社でPC躯体工事一式を請負い、グループ会社ピー・エス・コンクリート(株)北上工場で製作した総重量3,240tの部材を現地にて組み立てました。



銚子漁協第1荷さばき所（千葉県）

※PC躯体工事

水揚量日本一を誇る銚子漁港のシンボリック存在の市場が、東日本大震災により使用できなくなったため、復興の象徴として高度衛生管理型荷さばき所が整備されました。

建物は地上2階建て、延床面積7,366㎡、PCaPC造一部RC+S造、当社でPC躯体工事一式を請負いました。柱・梁・床版にPCa部材を用い、グループ会社ピー・エス・コンクリート(株)茨城工場で製作した総重量5,235tのPCa部材を現地にて組み立てました。

日東商事(株)新社屋 (東京都)

本物件は、東京都中央区京橋に日東商事(株)本社ビルとして、当社設計施工により建てられたS造10階建て、延床面積約1,500㎡のオフィスビルです。

本社ビルとしての洗練されたイメージを表現するために外壁を手すりまで一体としたガラスカーテンウォールを用いました。



医療法人仁康会 小泉病院耐震化 施設整備事業 (広島県)

広島県三原市にある医療法人仁康会小泉病院の耐震化施設整備事業として、平成24年3月から平成27年4月まで5期に分け、新設・耐震化・撤去の施工を行いました。





商号 株式会社ピーエス三菱
P.S. Mitsubishi Construction Co., Ltd.

設立 昭和27年3月1日

資本金 4,218,500,000円

従業員数 単体：1,045名

連結：1,518名

本社・支店

本社 〒104-8215
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9111

東京土木支店 〒104-8572
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9511

東京建築支店 〒104-8572
東京都中央区晴海二丁目5番24号
(03) 6385-9611

東北支店 〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町一丁目8番1号 東菱ビル
(022) 223-8121

名古屋支店 〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内一丁目17番19号 キリックス丸の内ビル
(052) 221-8486

大阪支店 〒530-6027
大阪府大阪市北区天満橋一丁目8番30号 OAPタワー
(06) 6881-1170

広島支店 〒730-0036
広島県広島市中区袋町4番25号 明治安田生命広島ビル
(082) 240-7011

九州支店 〒810-0072
福岡県福岡市中央区長浜二丁目4番1号 東芝福岡ビル
(092) 739-7001

役員

取締役および監査役

代表取締役社長	藤井敏道
代表取締役副社長	杉本武司
取締役	森拓也
取締役	小長光公和
取締役	塚原明彦
取締役	居村昇
取締役	鳥井博康
取締役	湊高樹
取締役	小野直樹
常勤監査役	井岡幹雄
常勤監査役	松尾潔
常勤監査役	朝倉浩

(注) 取締役鳥井博康、湊高樹、小野直樹の3氏は社外取締役であります。
監査役井岡幹雄、朝倉浩の両氏は社外監査役であります。

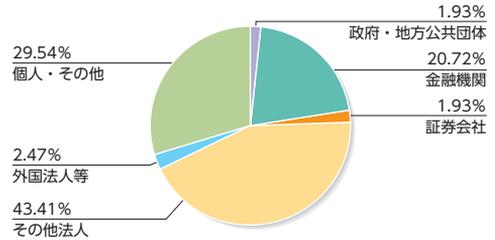
執行役員 (※は取締役兼務)

※社長執行役員 (全般統理・管理関係担当)	藤井敏道
※副社長執行役員 (社長補佐)	杉本武司
※常務執行役員 (技術本部長・安全品質環境担当兼海外事業担当)	森拓也
※常務執行役員 (建築本部長)	小長光公和
※常務執行役員 (土木本部長)	塚原明彦
常務執行役員 (東京土木支店長)	蔵本修
※執行役員 (建築本部副本部長)	居村昇
執行役員 (管理本部長・CSR担当)	小山靖志
執行役員 (土木本部副本部長兼原子力室長)	鈴木義晃
執行役員 (東京建築支店長)	黒柳辰弥
執行役員 (建築本部副本部長兼建築企画部長兼建築営業部長)	正木慎一
執行役員 (大阪支店長)	川原利朗
執行役員 (九州支店長)	宮脇裕明



発行可能株式総数 11,000万株
 発行済株式の総数 47,486,029株
 株主数 10,983名

所有者別株式保有状況



大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
三菱マテリアル株式会社	15,860,354株	33.40%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 太平洋セメント口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,491,300	9.45
住友電気工業株式会社	1,834,800	3.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,335,300	2.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,056,100	2.22
岡山県	839,740	1.76
三菱地所株式会社	496,000	1.04
明治安田生命保険相互会社 第51口	433,700	0.91
ピーエス三菱従業員持株会	408,695	0.86
株式会社大林組	400,000	0.84

HPのご案内

当社のホームページでは、株主の皆様向けの情報として、財務・業績情報、IR資料、プレスリリース等、IRに関する情報をタイムリーに掲載しています。ぜひ、ご活用ください。

当社HP



<http://www.psmic.co.jp/>

IRサイト



<http://www.psmic.co.jp/ir/>

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■同総会議決権行使株主確定日	3月31日
■期末配当金受領株主確定日	3月31日
■中間配当金受領株主確定日	9月30日
■公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.psmic.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
■株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
■上場証券取引所	東京証券取引所
■単元株式数	100株

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォ
ントを採用しています。



この印刷物は、有機溶剤等を使用しない環境にやさしい「水なし印刷」で印刷し、「ベジタブルインキ」を使用しております。また、針金を使わずに製本しております。